

西小は 大きな 家族
Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年5月27日（月）No.11

発行人

「あ展」行ってきました。おお～っ、
面白い！！の川崎先生(^_^)/~

■ワイワイガヤガヤ3年生田植え5/20（月）■

まあ、大喜び&大騒ぎ。無理もないね。素足で泥田へ入るなんてあまり経験しないものね。もちろん田植えの経験だって小学校3年生じゃあるはずもなく……。家で田んぼをやっていれば、少しは見たことも植えたこともあるかもしれないけれど、それとてかなり少人数だろうね。

田植えって難しいよね。植える場所を踏んじゃだめだし、植えた苗を避けつつ移動して、なおかつまっすぐに植えなくちゃならない。大人だって難しいんだよ。バランス崩して転んだり、転びそうになったり、石があったり、土が固かったり、たくさんハブニングがあったりしたけど、何とか田植え終了！！ふう(-.-)y° ° °。

でも、いろんな経験をするって大切。田んぼの水があたたかいことも、稲の植え方も、泥の中のバランスの取り方も、やってみなければわからない。こういう経験の積み重ねが一人一人の人生を創っていくんだよ(^)v。

◆ダンゴ虫ってかわいい！？◆

2年生の女の子が小さな水そうを持って登校してきた。何が入ってるの？と聞くと”ダンゴ虫！！”。そっか、家の周りにたくさんいるもんね。コロコロしてかわいいもんね。次の日も2年生男の子が箱をもって登校してくる。何を持ってきたの？”ダンゴ虫！！”。そ、そ、そうか。ダンゴ虫って捕まえやすいからね(^_^)。またまた月曜日の朝、二人の2年生男の子が水そうを二つずつもってやってきた。今度は何かな？”ダンゴ虫！！”。はいはい、みんなダンゴ虫好きなのね。男の子も女の子も、みんな大好きダンゴ虫。さすが西小。

そう言えば、去年3年生の校外学習に同行した時に、田んぼの中にいる”イモリ”に、”キャー、かわいい！！”を連発していたことを思い出した(@_@:)。これぞ自然との共存、生き物との共存。西地区に生きる子どもたちの偽らざる姿。

★★橿形班親睦球技大会（6年生）5/24（金）4勝（全勝）★★

まあなんというか、言葉ありませんね。強すぎです。でもその強い理由がわかります。それは半端ない一体感です。失敗したって責める人なんて誰もいないし、得点が入れば自分の事のように喜びし、応援だって全力だし、ガッツポーズやピースやハイタッチもすごく自然だし、全員が本当に一生懸命だし仲良いし、見ていて本当に爽やかでした。爽やかに強い！！大きな家族の長男長女たち。本当にアットホーム、まさに家族。とっても6年生が誇らしい川崎です。

それもこれも朝も放課後も一生懸命に練習した成果です。ピシバシしごいてくれた保護者の皆様、本当にありがとうございます。スパイク打ち込むのも愛ですよ。志村tのスパイクも愛ですよ。 「へへ～ん、勝ってやる」という練習試合の先生方の言葉ももちろん愛です。その愛がたくさんたくさんあったので、ナイスレシーブやナイスサーブやナイスフォローが生まれたのです。今回の勝利は愛の力も大きいですよ(^)v。あっ、もちろん応援のウチワも最高でしたよ(^)v。